

いのち「生命」を育む硝子

「見えないガラス」に目をこらす

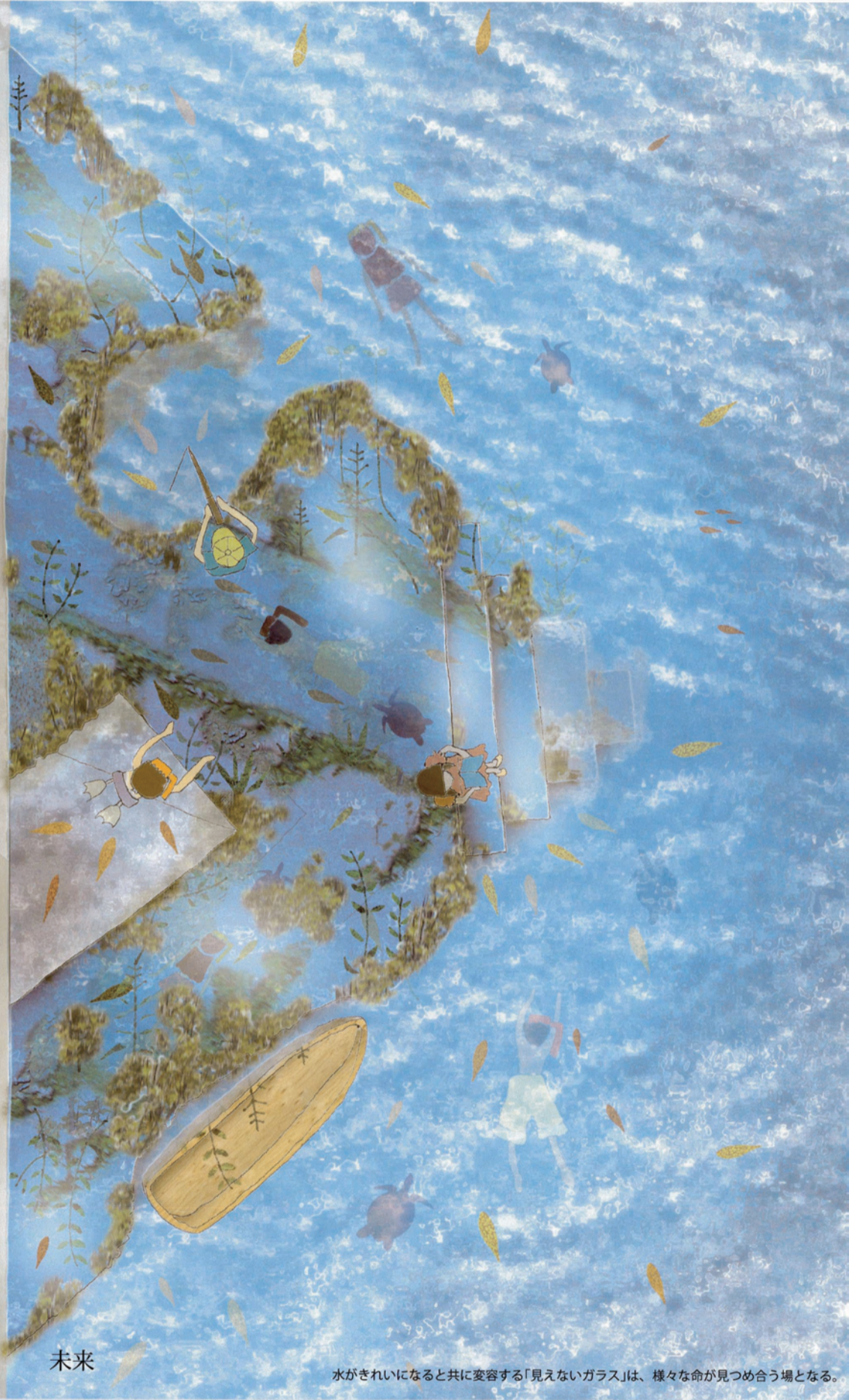
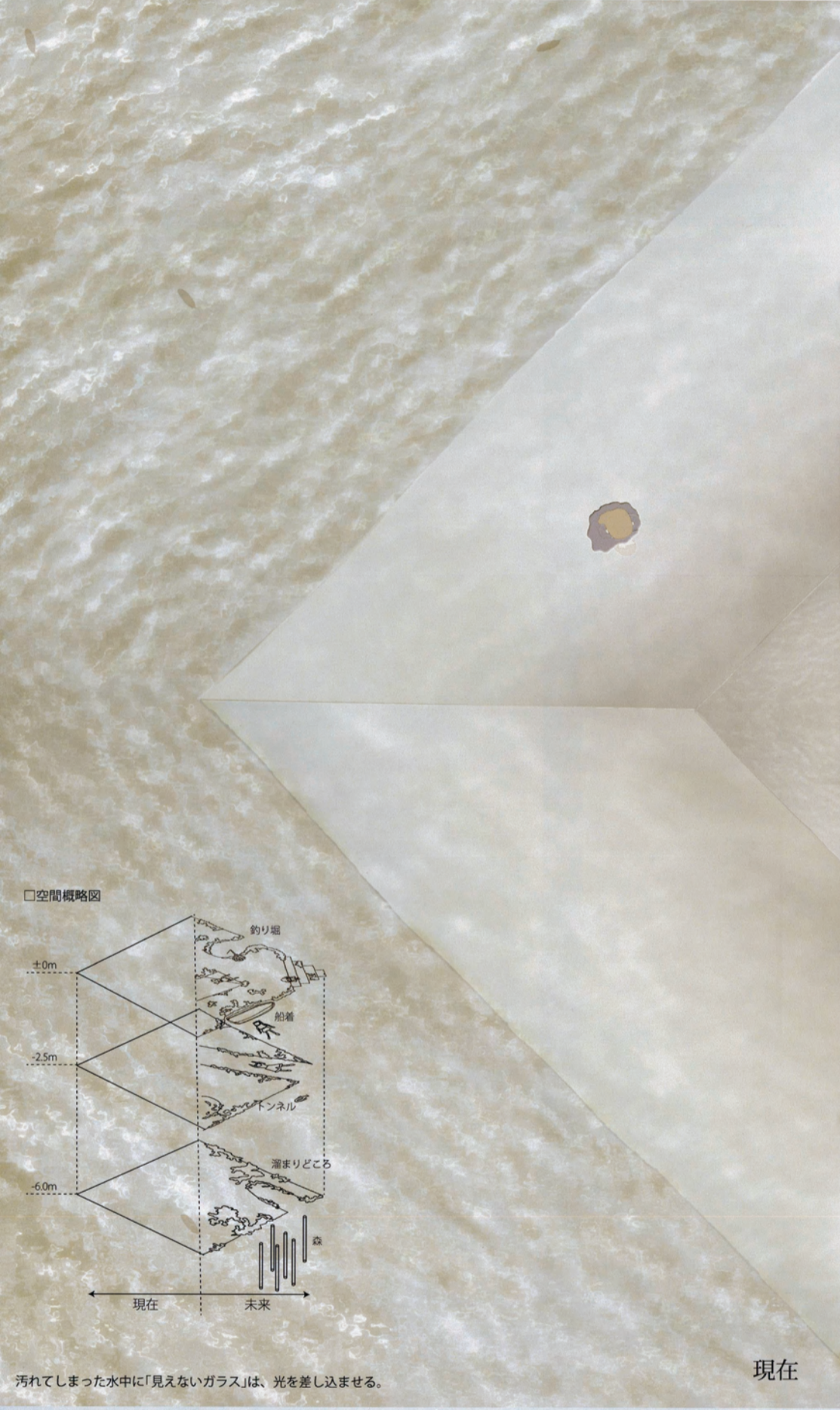
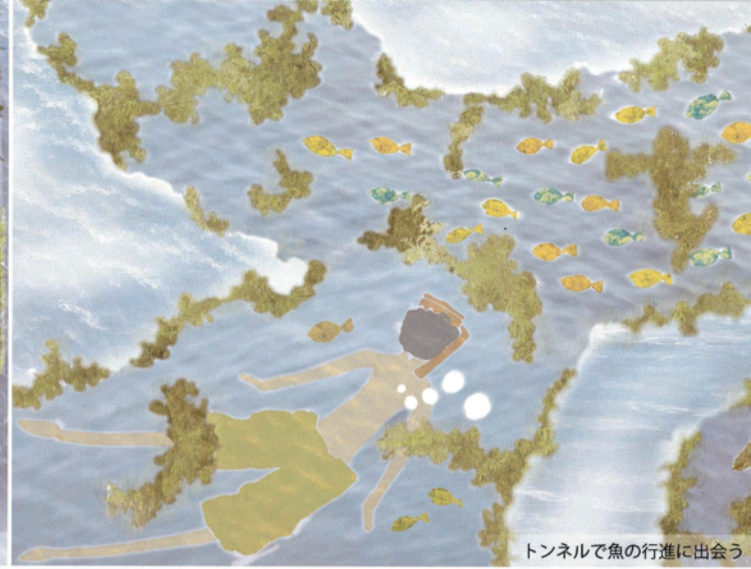
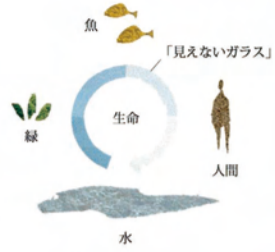
私たちが目をそらしてきた

儚い生命の姿があらわれる

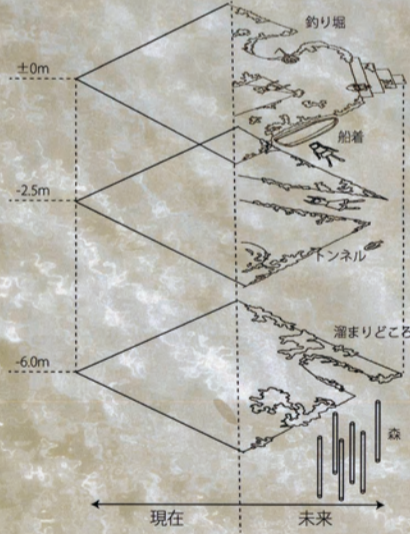
透明性と変容性によってガラスは
生き物のように生態系になじみ

見えないはずの命の輪廻を可視化する

水と緑と命が見つめあう空間を提案する



□空間概略図



汚れてしまった水中に「見えないガラス」は、光を差し込ませる。

現在

水がきれいになると共に変容する「見えないガラス」は、様々な命が見つめ合う場となる。

未来

ガラスの歩み

見える 見える
感が見える
ぼろぼろ汚れた湖の感が

Term 01. 水が澄んでゆく

見える 見える
変化が見える
浄化されゆく水の変化が

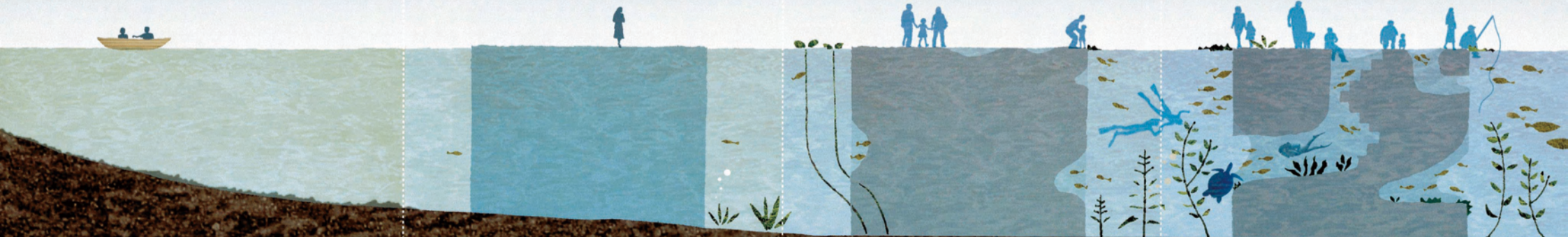
Term 02. 生き物たちが集う

見える 見える
命が見える
おなかを減らした魚たちが

Term 03. ガラスと生きる

見える 見える
世界が見える
ガラスと生きる生き物の世界が

見えるガラスは見えないガラス
見えないガラスは生きるガラス



■水質汚染
生活排水によって水質汚染された湖では、水中の汚染物質が太陽光を遮り、低層部まで光が届かない。水生植物は光合成が出来ず、湖の生態系のバランスが崩れていく。



■光の導き
汚濁した水中に透き通ったガラスを置く。ガラスに太陽光が差し込み、低層へと光を導く。湖の水生植物はもたらされた太陽光によって光合成を行い、酸素を発生させる。



■ヘドロの分解
水中の有機物が低層部に蓄積する。酸素不足により有機物が分解されないと、やがて有毒なガスを発生するヘドロとなってしまふ。水生植物が光合成を行えば、低層部にもたらされた酸素により、ヘドロは分解される。



■イオンの拡散
ガラスは非晶質固体であり、不安定な分子構造をもつ。アモルファス構造のガラスに添加物を加えると、より不安定な状態となる。ガラスの添加物としてイオン化した物質を加える。このガラスを水中に入れたら、分子構造から外れたイオン物質が水中に拡散し、動植物の栄養素となる。

